

## 2012年第2四半期の業績を発表

(このプレスリリースは、2012年7月26日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社:マサチューセッツ州ネイティック、NY証券取引所略号:BSX)は本日(2012年7月26日)、2012年6月30日締めの第2四半期の業績ならびに修正後1株当たり利益(EPS)を発表しました。売上高は18億2,800万ドル、修正後EPSは0.17ドルでした。欧州・中東・アフリカ地域(EMEA)の事業に関する営業権の減損費用として見積もりベースで34億500万ドル(税引き前では34億2,700万ドル)が計上されたことが大きく影響し、GAAPベースでは、1株あたり2.39ドルの損失となり、事前のEPS指針を下回りました。

### 第2四半期の業績について:

- 売上高は18億2,800万ドルと、リポーテッドベースでは7%の減少で、為替変動の影響と売却事業による売上を除外した4%の減少
- 修正後EPSは0.17ドルと、0.14ドルから0.17ドルという会社の修正後EPS指針の範囲の上限を達成
- 薬剤溶出型ステントの全世界での売上は3億1,800万ドルを計上し、マーケットシェアは約31%を確保
- 第2四半期は、ニューロモジュレーション事業部門が10%、エンドスコーピー事業部門が7%、ペリフェラルインターベンション事業部門が7%と、それぞれ全世界における売上が増加(為替変動の影響を除く)
- ICDの全世界での売上は3億5,500万ドルに達し、マーケットシェアは約22%を維持
- INGENIO™およびADVANTIO™ペースメーカーならびにINVIVE™ CRT-Pの米国食品医薬品局(FDA)による承認を取得
- キャメロン・ヘルス社の買収を完了し、同社が開発した世界初の皮下植込み型除細動器(S-ICD)システムを取得
- 営業キャッシュフローは4億700万ドルと堅調で、2011年に承認された自社株買い戻しに基き1,800万株の買い戻しを実施

「第2四半期は、競争の激化、厳しい市場の状況や業績が振るわない事業部門の存在にもかかわらず、修正後利益の指針を達成し、力強いキャッシュフローを生み出しました。」とボストン・サイエンティフィックのCEOであるハンク・クッシュマンは述べています。また、「コストの最適化と重要な成長プライオリティ(key growth priorities)を効率的に実行し、再び増収を達成できるように全社を挙げて取り組んでおります。」とも述べています。

### 2012年第2四半期業績

2012年第2四半期の売上高は18億2,800万ドルで、2011年第2四半期の売上高19億7,500万ドルに比べて7%減少しました。為替変動の影響と売却した事業による売上高を除くと、前年同期比で4%の減少となりました。

全世界での為替変動の影響を除いた第2四半期の売上高は次の通り(リポーテッドベース):

<i>in millions</i>	Three Months Ended June 30,		Change	
			As Reported Currency Basis	Constant Currency Basis
	2012	2011		
Interventional Cardiology	\$ 549	\$ 652	(16) %	(13) %
Cardiac Rhythm Management	488	544	(10) %	(8) %
Endoscopy	311	298	4 %	7 %
Peripheral Interventions	196	189	4 %	7 %
Urology/ Women's Health	126	127	(1) %	0 %
Neuromodulation	91	84	9 %	10 %
Electrophysiology	37	38	(2) %	0 %
<b>Subtotal Core Businesses</b>	<b>1,798</b>	<b>1,932</b>	<b>(7) %</b>	<b>(4) %</b>
Divested Businesses	30	43	N/A	N/A
<b>Worldwide</b>	<b>\$ 1,828</b>	<b>\$ 1,975</b>	<b>(7) %</b>	<b>(5) %</b>

(成長率は四捨五入しない実数値であり、再計算しない)

第 2 四半期において、欧州におけるマクロ経済的な要因や欧州市場の当社業績の影響を受けて、長期的な予想成長率がやや低下したことが主な要因となり、年間の営業権減損の適用要件を満たしたため、EMEA 事業に関する営業権の減損費用として見積りで 34 億 500 万ドル(税引き前では 34 億 2,700 万ドル)の支出を伴わない費用を計上しました。その結果、GAAP ベースで、2012 年第 2 四半期の EPS は事前の指針を下回りました。会社が見直した通年の EPS 指針にはこの結果が反映されています。営業権の減損費用の金額はまだ最終決定されていませんが、31 億ドルから 37 億ドルの範囲内に収まると予想しています。

GAAP ベースで、2012 年第 2 四半期の純損失は 34 億 400 万ドル(1 株当たり損失 2.39ドル)でした。この業績は、営業権などの無形資産の減損費用、買収関連の費用、事業売却・組織再編・訴訟関連の費用及び償却費用として 36 億 4,300 万ドル(1 株当たり 2.56 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2012 年第 2 四半期の修正後純利益は、2 億 3,900 万ドル(1 株当たり 0.17ドル)でした。税引き後で、GAAP ベースの純利益に対する主な修正は、前述のとおり営業権の減損費用として見積もられた 34 億 500 万ドル(税引き前では 34 億 2,700 万ドル)、無形資産の減損費用 1 億 1,000 万ドル、そして訴訟関連の費用 4,000 万ドルでした。

GAAP ベースで、2011 年第 2 四半期の純利益は 1 億 4,600 万ドル(1 株当たり 0.10ドル)でした。この業績は、無形資産の減損費用、買収・売却関連の費用、組織再編関連の費用、そして償却費用の 1 億 1,600 万ドル(1 株当たり 0.07 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2011 年第 2 四半期の修正後純利益は、2 億 6,200 万ドル(1 株当たり 0.17 ドル)でした。

### 2012 年第 3 四半期および通年の指針

ボストン・サイエンティフィック社は、2012 年第 3 四半期の売上高を 17 億 2,500 万ドルから 18 億 2,500 万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAP ベースの 1 株当たり利益は 0.06ドルから 0.09ドルの間になる見込みです。買収・組織再編関連の費用と償却費用を含めない修正後利益は、1 株当たり 0.14ドルから 0.17ドルの範囲内と予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2012年通年の売上高を72億ドルから74億ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAPベースの1株当たり損失は2.09ドルから2.16ドルの間になる見込みです。営業権などの無形資産の減損費用、買収・組織再編・訴訟関連の費用、および償却費用を含めない修正後利益は、1株当たり0.62ドルから0.68ドルの範囲内だと予想しています。

#### 電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(7/26)午前8時00分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子を会社サイトのIRのセクション [www.bostonscientific.com/investors](http://www.bostonscientific.com/investors) にて配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約1年間配信する予定です。

#### 将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第27A条および証券取引法(1934年制定)第21E条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、純売上高、2012年度第3四半期および通年の修正後利益・GAAPベースの業績・修正業績についての予測、営業権評価損およびその他の減損費用、財務成績、製品市場と市場シェア、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブ、私たちの成長の位置づけなどに関する記述なども含まれます。基本的な前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意してください。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、EMEAを含む製品市場、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、EMEAを含む金融市況、営業権の減損費用概算の決定、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新たなリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の10-K年次報告書パートI 1A項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の10-Q四半期報告書パートII 1A項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィック社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するように将来予測に関する記述の内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

### 非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP(一般会計原則)の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに付属の別紙をご覧ください。

#### 連絡先:

スティーブン・カンパニーニ  
508-652-5740(社内)  
steven.companini@bsci.com  
メディア向け情報担当

デニス・カイグラー  
508-650-8330(社内)  
denise.kaigler@bsci.com  
メディア向け情報担当

ショーン・ヴァーチス  
508-652-5305(社内)  
investor\_relations@bsci.com  
投資家向け情報担当

#### <ボストン・サイエンティフィック社について>

ボストン・サイエンティフィック社(米国マサチューセッツ州)は、最先端メディカルデバイス(医療機器)の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。インターベンション(身体をメスで大きく切らない治療)の分野では世界最大手。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレートコミュニケーションズ)

TEL : 03-3343-9411, FAX : 03-3343-0264

E-mail でのお問合せはこちらへ ([pressroom@bsjkk.co.jp](mailto:pressroom@bsjkk.co.jp))

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社